

生活科学習指導略案

1年4組 26名 指導者 田代 宗輔

本授業では、以下の検証を行うものである。

「思考を促し、考えをつなぐ教師の働き掛け」を活用して子どもと関わることは、気付きを広げたり、気付きの質を高めたりする手立てとして有効であったか。

1 単 元 なつとあそぼう

2 指導計画 (総時数11時間)

過 程	主 な 学 習 活 動 【 評 価 規 準 】	時 間
で あ う み つ け る	1 校内にいる生き物や自然の様子を観察し、「夏」を実感する。 【気：諸感覚を使って動植物を観察し、夏の自然の様子に気付いている。】	2
か か わ る	2 夏の遊びを楽しむ。 【思：自然や身近な物を利用した遊びを考え、工夫しながら楽しんでいる。】	5 (本時)
	3 公園に行き、みんなで遊ぶ。 【気：みんなで使う場所には、マナーやルールがあることや友達と一緒に遊ぶ楽しさに気付いている。】	3
つたえあう つ な げ る	4 夏の自然の様子や夏の遊びを通して、気付いたことや本格化する夏にやってみたいことを話し合う。 【関：夏の自然の様子や遊びについて進んで友だちに伝えようとしたり、これから来る夏の遊びに思いをはせながら夏を楽しもうとしたりしている。】	1

3 本 時 (3 / 1 1)

(1) 目 標

道具の工夫や吹き方の工夫等を友達と伝え合い、みんなでシャボン玉遊びを楽しむことができるようにする。

(2) 評価規準と評価の視点

道具の工夫や吹き方の工夫等を友達と伝え合い、みんなでシャボン玉遊びを楽しんでいる。

【活動や体験についての思考・表現】

《評価の視点》

- 大きなシャボン玉を作るには、ストローから息をゆっくり出すとできたよ。
- たくさんのシャボン玉を作るには、ストローから強く息を出すとできたよ。
- ストローの先を切って開くと大きいシャボン玉ができたよ。

(3) 指導に当たって

「であう・みつける」過程では、教師の実演を通して、シャボン玉遊びの手順や留意点を確認し、作ってみたいシャボン玉への思いや願いを話し合う。

「かかわる」過程では、子どもがシャボン玉遊びの中で気付いたことを、「考えをつなぐ教師の働き掛け」を活用しながら、気付きの質を高めていくことができるようにする。また、子どもの気付きを全体に適宜紹介し、作ってみたいシャボン玉ごとにグループを作り、自然と協働的な「学び合い」ができるようにする。

「つたえあう・つなげる」過程では、本時の活動の中で気付いたことや工夫したことを振り返り、自分の気付きのよさや工夫、協働的な「学び合い」のよさに気付くことができるようにする。

過程	時間	主 な 学 習 活 動	指 導 の 手 立 て
であ う・ みつ ける	5	1 教師の実演を見て、シャボン玉遊びの 手順や留意点を確認する。 ・ 先生が作ったシャボン玉より大きい ものを作りたいな。 ・ シャボン玉をたくさん作って飛ばし たいな。 ・ いろいろな道具があるけど、シャボ ン玉遊びで使うのかな。	○ シャボン玉遊びを実演することで、シャ ボン玉遊びに向けた思いや願いをもつこと ができるようにする。 ○ シャボン玉遊びの手順や留意点を確認す ることで、遊び方について知り、安心して 活動に取り組むことができるようにする。 ○ 様々な太さのストロー、トイレットペー パーの芯、紙コップなど、工夫して遊ぶこ とができるような身近な素材を準備してお く。
か か わ る	30	2 本時のめあてをつかむ。 みんなで シャぼんだま あそびを たのしもう。 3 シャボン玉遊びを楽しむ。 ・ 大きなシャボン玉を作るには、スト ローから息をゆっくり出すとできたよ。 ・ たくさんのシャボン玉を作るには、 ストローから強く息を出すとできたよ。 ・ ストローの先を切っている人がいる よ。何をしているのかな。 ・ 紙コップやトイレットペーパーの芯 があるよ。シャボン玉遊びに使えない かな。 4 作ってみたいシャボン玉ごとにグル ープを作り、協働的な「学び合い」を 行う。 関連付ける ・ 大きなシャボン玉の作り方を友達に 教えてもらってできるようになったよ。 ・ シャボン玉が出る所を大きくすると 大きいシャボン玉ができるんだね。紙 コップを使ったらもっと大きいものが できそうだよ。	○ シャボン玉遊びをする中で生まれた気付 きを適宜全体に紹介したり、「思考を促し、 考えをつなぐ教師の働き掛け」を活用しなが ら、気付きを広げることができるようにす る。 ※ 道具の工夫や吹き方の工夫等を友達と伝 え合い、みんなでシャボン玉遊びを楽しん でいる。(つぶやき・対話・観察) ○ シャボン玉遊びを通して気付いたこと を、友達と進んで伝え合っている子 どもには、称賛し、そのよさを意味付 けたり価値付けたりする。 ○ 活動が進まない子どもには、友達と 一緒に活動するよう助言したり、教師 との対話を通して支援したりする。
つ た え あ う・ つ な げ る	10	5 活動を振り返り、シャボン玉遊びで 気付いたことや工夫したことを話し合 う。 ・ ストローの先を切って広げたら大き なシャボン玉ができたよ。 ・ 紙コップを使ってシャボン玉遊びを したら、すごく大きなシャボン玉を作 ることができたよ。 ・ 友達と一緒に遊んで楽しかったよ。 6 後片付けをする。	○ シャボン玉の大きさや数とその作り方で 気付いたことを「思考スキル」(関連付け る)を活用してまとめていくことで、様々 な遊び方があることに気付くことができ るようにする。 ○ シャボン玉遊びを通して気付いたことや 工夫したこと、友達との協働的な「学び合 い」のよさを「思考を促し、考えをつなぐ 教師の働き掛け」を活用しながら振り返 ることで、気付きの質を高めることができ るようにする。 ○ 用具を適切に片付けるよう言葉掛けを行 い、見届けを行うようにする。